

# 栗窓

発行

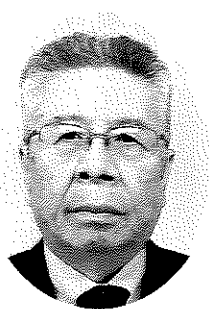
北海道栗山高等学校

同窓会事務局

TEL0123-72-1343

印刷 (株) キカク

## 「満足する人生に一言・・・」



同窓会長

月輪 淳 裕

ご卒業おめでとうございます。これよりは栗高同窓生として応援していただく立場に変わります事よろしく願います。

ここ数年生徒数の激減で学校の存続が危ぶまれておりましたが町の有志や栗山監督の勧めの女子硬式野球部創設で二クラス維持の生徒数を確保しております。

生徒は栗山町以外の子が多くなり寮の整備等、悩みも多くなりました。

又、生徒が片寄り過ぎることやこのまま野球部に頼ってしまふ不安を危惧しております。高校とは単に人数を集め存続だけ

に力を入れる事は大人の一方的な考え方なのかもしれません。

わたしは四十七年卒業で多くの生徒がいました。今も二年毎にクラス会を続けておりますがもう七十才を越えました。同じ学び舎で出合った者同士がいつまでも会えることは楽しく大きな喜びを与えてくれます。高校生活とは人生のこれからを左右する大切な時期だと思います。

同窓生は母校は残って欲しいですが、この少子化の時代を迎えた子達に何か出来ることがあるかを聞く耳を持つことも同窓生だと思っています。

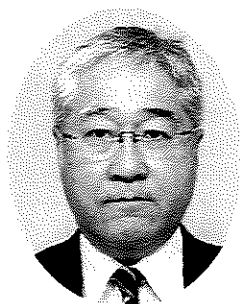
人生を楽しむ「かきくけこ」を紹介します。「か」感動する「き」興味を持つ「く」工夫をする「け」健康であること「こ」恋をする。つまり、うきうきすることです。

今色々問題になっている闇バイト等に関して思うことがあり

ます。今若い人達はテレビを見なくなつたと聞きます。スマホを握り締めSNS等からの情報やコメントに流されて選挙でさえ以前と変わつてしまいました。

自分をしつかり生き抜くとはテレビや新聞との情報を見聞きして回りの意見を聞くこ

## 「令和六年度を振り返って」



校長

坂上 大 介

同窓会誌「栗窓」の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

令和六年度の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、この二月二十八日には同窓会入会式が挙行され二十二名の生徒が新たに栗高同窓会の会員となりました。残念なことに、栗高さつぽろ会は、令和六年十二月いっばいで解散し、三十年の歴史に幕を閉じることとなりましたが、今後も、先輩

との大切ささえ守っていただければ、悲しい事件は無くせると思います。簡単な楽な人生なんてありません。「満足は努力の中にあつて結果にあるものではない」ガンジー氏の言葉です。皆さんのこれからを皆見ていて応援しています。

である同窓会会員の皆様におかれましては、新会員へのご指導とご鞭撻をいただきますとともに、様々な場面においてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

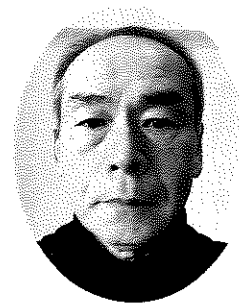
さて、令和六年度は、栗山高校では新たに四十九名の新入生を迎え、一問口を何とか維持し、全校生徒百二十名でスタートをきることとなりました。教員も、私も含めおよそ十名が新たに赴任するなどし、前年度までのコロナ禍による影響もほぼなくなつてきた中、色々な意味で新たな栗高がスタートしたのではないかと思っています。部活動においても、テニス部やバドミントン部、書道部などの活躍が光り、全道大会進出を果たしま

した。特に書道では、二年生の越前谷綾香さんの作品が、次年度の全国総合文化祭推薦候補作品として選出され、全国への出場を決めています。また、学校体制としては、福祉のまちをうたう栗山町のもとで、三年間を通じて福祉を学べる教科「栗山と福祉」の学習内容を充実させ、今年度からは町の協力を得ながら、福祉を学びたい生徒を全国から募集する取組である「地域みらい留学」に参加して、生徒募集につとめています。

来年度も更なる飛躍を目指して努力を続けてまいりますので、今後ともご支援を賜りますようお願いするとともに、同窓会会員各位の益々のご健勝を祈念いたします。

ご卒業おめでとうございます

## 『栗高生に伝えたいこと』



栗高同窓会東京支部

松本 洋幸

卒業おめでとう。新たな道に踏み出す君たちにエールを送るにあたって考えたことは、これからの「人との出会いの大切さ」です。

僕は栗高を卒業して丁度六十年を迎えました。そう、団塊の世代の七十八歳になります。今は遠く離れた横浜市で暮らしています。

六十年前、君たちと同じように希望と不安を抱えながら卒業し、新たな冒険に旅立ちました。栗山駅から汽車に乗っての上京です。東京を目指したのは漠然として何かがあるとの思いだけでした。

大学では、全国各地から集った学友と語り合い、高校とは少し雰囲気の違いがあった先生、いわゆる教授との関わりから刺激を受け、新たな実体験を通じて、自分の中に新しい何かが生えてきました。今考えると、学友や教授との出会いそして交流によってその後の人生が決まった

ように思います。一年休学して米国に游学するとき、千葉の山奥で牧畜に携わるとき、そしてその後四十数年勤める職場に就職するとき、家庭をもつとき、必ずどなたが助言するなり導く人が現れました。今は退職後知りえた地域の人たちとの交わりの中で地域貢献に汗しています。

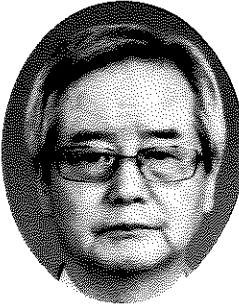
君たちは、これから多くの場面です。一時的な出会いもあるでしょう。一生の出会いもあるでしょう。その出会いと自分を大切にしたいという冒険に挑み、失敗を恐れず目指すゴールに向かってください。

何かの縁で東京方面にて生活することになったら、東京には「栗高同窓会東京支部」として「東京栗山会」という組織があり、同窓生や栗山に関係する人々が遠く離れた地に居る事を覚えていてください。良き出会いがあるかもしれません。君たちの前途に光を。

## プロフィール

栗山高校同窓会東京支部会長  
東京栗山会副会長  
(昭和四十年卒)

## 「失敗・挫折にくじけるな」



栗高さっぽろ会

太田 直行

は教科書がない。先生が一方的にしゃべるだけなので、ノートを取るのが精いっぱい。

運動部の合宿は四月二十九日(当時は「天皇誕生日」)から十一月三日「文化の日」までと長い。合宿所は大学からバスで三十分(当時)の郊外にあった。講義に出るのが億劫なものだからしよつちゅうサボる。しかも、午前中の講義は早朝練習の疲れでこっくりこっくり。当然、成績は常に赤点スレスレ。試験中に眠ってしまった。先生の「あと五分」の声に目覚めたことも。未だに「悪夢」となつてよみがえります。

念願の会社に入ってから似たようなものでした。「こんな原稿(記事)しか書けないのか。荷物をまとめて(田舎へ)帰れ！」と上司や先輩にどなられ、何度涙したことか。

こんな恥ずかしい話をあえて紹介したのは、未経験や不得手なことも、時間が解決してくれらるだろう、と言いたかったからです。やがて、上司、先輩の「説教」も「早く一人前になれ」という期待、励ましと受け止められるようになるでしょう。

この文を書きながら改めて振り返ってみると、栗高を巣立つてからもう六十余年！「光陰矢

の如し」を実感すると同時に、前途洋々のキミたちが羨ましく思えてきます。

## プロフィール

昭和三十八年三月  
栗高卒業

昭和四十二年三月

北海道大学農学部林学科卒業

昭和四十二年四月

同学科大学院修士課程

昭和四十三年八月

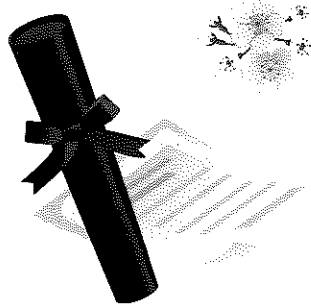
同課程中退

昭和四十四年四月

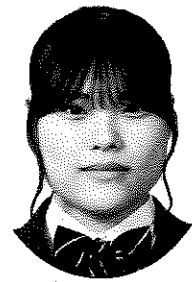
読売新聞東京本社入社(記者職)

令和四年

栗高さっぽろ会会長(任期二年)



# 「高校三年間を振り返って」



3年1組  
佐藤 夢

ちで大変なことが多かったけれど楽しいと思えたことの方が多かったの後悔はしていないです。

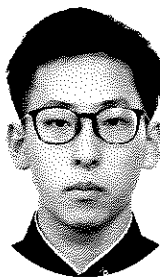
次に思い出の話です。一つ目は学校祭や体育祭などの行事です。学校祭はやっぱり三年生で優勝したのが印象的です。一、二年生のときにはみえなかった協力や団結力がもつとみえてきて自分たちが納得いくような形で終われたのが最高でした。体育祭は三年連続で優勝したことです。自分たちもここまでできるとは思っていなかったのですが、びつくりはしましたが、改めて自分たちのやる気や、団結力がすごいんだなと気づかされました。おかげさまで教室は賞状でいっぱいになりました。

私は高校生活の三年間で泣いたり笑ったり、こんな日々を仲間と共に過ごしてきました。一つにみんなと過ごすにつれ、あつという間に三年生になっていました。私たちはどの学年よりも人数が少なく、一クラスでのスタートでした。最初は慣れない学校生活に不安が募っていましたが優しい先輩たちのおかげで打ち解けることができました。私は先輩の誘いでバスケットボールのマネージャーに入りました。最初は部活はやらな心と心に決めていたのですが入ってからはずっと楽しく苦に感じなかったのに入ってから良かった心の底から思いました。また、生徒会もやってみたいという気持ちになり、委員長に無事なることができた自分の役割を果たすなどそんな経験もしました。それから、アルバイトにも懸命に取り組みました。三つのかけ持

足を痛めたのも思い出です。悲しいことに私は三日目の夜から体調を崩してしまい最後まで全力で楽しむことができませんでした。でも一つ気づいたことがあって、みんながいるだけで楽しいということ。一人だったらどんなに苦だったか考えただけでゾッとします。修学旅行もみんなのおかげで無事三泊四日楽しく過ごせて良い思い出ができました。みんなありがとう!!

私はこんなたくさんの思い出を話した中、やっぱり友達との日常生活、日常会話が好きです。写真を撮ったりペンチで話したり、そんな何気ない日が大好きでした。これがないと生きていこうなんて考えたくもないくらいみんなと一緒に過ごしてきた時間は大切に幸せでした。みんな幸せを与えてくれてありがとう。この思い出は一生の宝物です。

## 「三年間の思い出」



3年1組  
松尾 弘人

私は栗山高校で野球漬けの毎日を送りました。私は小学校二年生の頃から野球を続けてきて、高校でも野球部に入りたいと考えていました。ですが私が入部した時は部員が四人しかおらず本場に野球ができるのか心配でした。人数の関係もあり練習試合や大会は夕張高校さんとの合同チームでやることになりました。

野球では扇の要と呼ばれ試合では中心となりチーム全体を引っ張っていく役目があるキャッチャーというポジションがあります。私たちのチームにはそのキャッチャーがいなかったのです。そこで小学校のときにキャッチャーをやっていた私がその役目を負うことになりました。夏の大会では春に負けたのがとても悔しく、なんとかしたいという気持ちもありましたがチームの雰囲気が悪く、全然だめだと思った私は先輩たちに向かって「お前ら勝つ気あんのかよ!」といってしまったのを今でも覚えています。

二年生の頃は更に上達して試合にも勝てるようになっていきとても楽しかったです。二年生の秋から同年の部員がマネージャーしかおらず、私は自動的にキャプテンとなりました。単独チームとして出場することになり、クラスの友人や後輩に助っ人として練習や試合に参加してもらい、なんとか大会に出ることができました。試合の結果はコールド負けに終わりましたが、単独で戦えたことに感謝をし、まだ来年があるからという思いで春まで必死にトレーニングをしました。

年が明け三年生として最後の高校野球となりました。春の大会では同じ高校にまたコールド負けしてしまい悔しい思いがありました。夏までの一ヶ月で少しでも成長してなんとか夏に優勝したいという思いで取り組みました。最後の夏はクラーク記念国際高校と当たり、コールド負けしてしまいました。とても悔しい気持ちがありましたが自分のすべてを出し切れたと思います。

日々支えてくれた両親や先生方、チームメイトには感謝の気持ちでいっぱいです。野球を通して大きく成長できたと感じます。とても充実した三年間を過ごせました。ありがとうございました。

## 卒業生名簿



一組担任

松叶○ 松千星濱那飛谷田助下三佐佐榊齊熊叶加小上稲石  
 尾内 クラス 尾場川田須渡内上川出條藤藤 藤田内瀬原村田井  
 弘 ス 幹事 弘柚明歩凜 陽劉航愛 夏結瑞壺 智祥 小麗  
 人 茜 斗 人希夢汰花翔友花砥太香夢茄樹稀啓茜也太笙桃奈



## 進路の状況

## 1. 進路決定状況

令和7年1月31日 現在

| 種 別 | 進 学 |      |      |      | 就 職 |     | その他 | 合 計 |
|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|     | 大 学 | 短期大学 | 看護学校 | 専門学校 | 公務員 | 就 職 |     |     |
| 男 子 | 1   | 0    | 0    | 5    | 0   | 5   | 1   | 12  |
| 女 子 | 1   | 0    | 0    | 5    | 1   | 2   | 1   | 10  |
| 合 計 | 2   | 0    | 0    | 10   | 1   | 7   | 2   | 22  |

## 2. 進学者内訳

| 進学先   | 地域 | 道 内 |    | 道 外 |    | 合計 |
|-------|----|-----|----|-----|----|----|
|       | 性別 | 男子  | 女子 | 男子  | 女子 |    |
| 国公立大学 |    | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  |
| 私立大学  |    | 1   | 1  | 0   | 0  | 2  |
| 短期大学  |    | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  |
| 看護学校  |    | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  |
| 専門学校  |    | 4   | 4  | 1   | 1  | 10 |
| 合 計   |    | 5   | 5  | 1   | 1  | 12 |

## 3. 就職者職業分類内訳

| 職 種   | 男子 | 女子 | 合計 |
|-------|----|----|----|
| 専門・技術 | 1  | 0  | 1  |
| 事 務   | 0  | 2  | 2  |
| 販 売   | 0  | 0  | 0  |
| サービス  | 0  | 0  | 0  |
| 保 安   | 1  | 1  | 2  |
| 農林漁業  | 0  | 0  | 0  |
| 生産工程  | 0  | 0  | 0  |
| 輸送・機械 | 2  | 0  | 2  |
| 建 設   | 1  | 0  | 1  |
| 運 搬   | 0  | 0  | 0  |
| そ の 他 | 0  | 0  | 0  |
| 合 計   | 5  | 3  | 8  |

## 4. 就職者地域別内訳

| 地 域 | 男子 | 女子 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 栗 山 | 2  | 1  | 3  |
| 由 仁 | 0  | 0  | 0  |
| 長 沼 | 0  | 0  | 0  |
| 南 幌 | 0  | 0  | 0  |
| 岩見沢 | 0  | 0  | 0  |
| 空 知 | 1  | 0  | 1  |
| 札 幌 | 1  | 0  | 1  |
| 他道内 | 1  | 2  | 3  |
| 道 外 | 0  | 0  | 0  |
| 合 計 | 5  | 3  | 8  |

## 令和六年度 進路決定状況

(令和七年一月三十一日現在)

### 《大学・短大》

北海学園大学 (工学部 生命工学科)  
北海道千歳リハビリテーション大学  
(健康科学部リハビリテーション学科理学療法専攻)

### 《専門学校》

愛犬美容看護専門学校 (愛玩動物看護科)  
札幌青葉鍼灸柔整専門学校 (柔道整復学科昼間一部)  
札幌科学技術専門学校 (自然環境学科)  
札幌科学技術専門学校 (電気技術学科)  
札幌ベルエポック美容専門学校 (美容師科)  
専門学校札幌ビジュアルアーツ (音響学科ベース専攻)  
専門学校北海道自動車整備大学校 (二級自動車整備学科)  
北海道介護福祉学校  
東京アニメーションカレッジ専門学校  
(総合コミックイラストコース)  
愛知調理専門学校 (調理専攻科)

### 《就 職》

#### (公務員)

栗山町職員

#### (民間企業)

日本郵便株式会社 北海道支社  
共立道路株式会社  
株式会社 工藤商事  
谷村工業株式会社  
セコム株式会社  
株式会社 セノン 千歳支社  
新千歳空港サービス株式会社

## 「栗高さつぽろ会」の解散

元栗高さつぽろ会会長 太田 直 行

栗高さつぽろ会は平成六年(一九九四年)札幌市とその近郊に在住のOBで設立され、会員は昭和二十七年(一九五二年)から三十五年卒の計二百三十四人でした。七月三十日の第一回総会・懇親会(以下「総会」)には百二十一人が出席しました。

その後、順調に会員数が増え、平成十五年には昭和四十年(五十年卒)の加入で最大の五百三人に達しました。総会への出席者も平成九年の百三十七人を最多に百人前後の年が多くなりました。総会には栗山町長(時に代理)、栗山高校長、恩師、同窓会本部役員のほか、節目の年には同東京支部の役員も出席してくださいました。

しかし、新入会員の減少・途絶で会員数が減り始め、会員の高齢化とともに総会への出席者も先細りになってきました。この間、「コロナ」という予期せぬ事態も発生し、総会が三年連続で中止になったのは記憶に新しいところです。

今後、状況の改善が見込めないことから、令和六年十二月三十一日をもって解散のやむなきに至りました。これまで関係の皆様がたからは多大なご支援、ご協力をいただきました。深く感謝を申し上げます。

### 栗山高校同窓会役員名簿

| 役職  | 卒業年  | 氏名      |
|-----|------|---------|
| 顧問  | 昭和41 | 本 田 論   |
| 会 長 | 昭和47 | 月 輪 淳 裕 |
| 副会長 | 昭和50 | 岡 山 典 弘 |
|     | 昭和53 | 鈴 木 正 明 |
|     | 昭和56 | 鈴 木 利 一 |
|     | 昭和58 | 高 杉 文 浩 |
|     | 昭和60 | 北 野 隆 春 |
|     | 昭和62 | 塩 見 望   |

|      |      |           |
|------|------|-----------|
| 事務局長 | 昭和50 | 山 本 信 二   |
| 会 計  | 昭和52 | 松 本 俊 哉   |
| 事務局員 | 昭和56 | 三 田 文 彦   |
|      | 平成7  | 森 広 樹     |
|      | 平成10 | 伊 藤 幸 秀   |
| 会計監査 | 昭和38 | 角 田 伸 慶   |
|      | 昭和47 | 中 村 美 恵 子 |

北海道栗山高等学校同窓会事務局

〒06911524

北海道夕張郡栗山町角田162番地64

山 本 信 二

### 栗高同窓会東京支部

◆ 会 長 松 本 洋 幸

〒24110801

横浜市旭区若葉台2-2011002

◆ 事務局長 久 世 郁 夫

〒34310804

埼玉県越谷市南荻島420814

※東京支部は本州全域の会員を対象として支部を結成しており、隔年で会合を開いております。御連絡を。

## 沿 革 史

## 私立栗山裁縫学校時代

- 大正 5. 11. 7 私立栗山裁縫学校として設置認可  
6. 4. 16 栗山仏教会館にて開校式

## 村立栗山高等裁縫学校時代

- 大正 13. 3. 31 私立栗山裁縫学校廃止  
5. 23 実業補習学校規定により公立栗山高等裁縫学校設置認可。但し栗山尋常高等小学校に併置  
11. 30 校地を旧校舎の位置（中央 3 丁目）に定め正面 2 階建て校舎落成

## 村立栗山実科高等女学校時代

- 昭和 4. 3. 12 高等女学校令により公立栗山実科高等女学校設置認可。但し栗山尋常高等小学校に併置  
3. 31 公立栗山高等裁縫学校廃止、生徒は公立栗山実科高等女学校に吸収  
4. 15 独立校舎にて開校式  
以来この日をもって開校記念日と定む  
7. 3. 25 第 1 回卒業式、同窓会設立（3 月 6 日創立）  
8. 11 校歌作成なる（現在の校歌）  
12. 8 校名旗制定  
9. 7. 11 校旗制定  
7. 21 校章制定（撫子花、七宝焼）  
14. 4. 15 開校 10 周年記念式典

## 北海道栗山高等女学校時代

- 昭和 18. 4. 1 中学校令改正により 2 ヶ年の中等学校となり、栗山高等女学校（公立）と改名  
21. 4. 1 3 ヶ年制高等女学校となる

## 北海道栗山高等学校時代

- 昭和 23. 4. 1 栗山高等女学校を道立移管し、校名を北海道立栗山高等学校と改称する（男女共学）  
栗山高等学校 P T A 設立  
24. 3. 18 北海道立栗山高等学校第 1 回卒業式  
10. 15 開校 20 周年並びに道立移管、校舎増築を祝し記念式典  
25. 3. 31 定時制普通科併置認可  
26. 4. 1 本校通学区を栗山、由仁、長沼と決定  
校名を北海道栗山高等学校と改称する  
27. 12. 1 農業定時制設置  
30. 4. 1 全日制家政科併置認可  
31. 4. 1 定時制農業科併置認可  
33. 3. 1 新校旗（現校旗）制定  
4. 1 通学区変更（長沼高等学校設置認可のため長沼町を学区より除く）  
34. 9. 13 開校 30 周年記念式典  
37. 9. 7 定時制農業科 10 周年記念式典  
44. 9. 7 開校 40 周年記念式典  
46. 9. 7 校舎移転改築第 1 期工事着工  
48. 12. 23 新校舎への移転完了（20 日より 23 日まで）  
49. 11. 4 校舎落成記念式典  
52. 12. 4 農業科創立 25 周年記念式典  
54. 10. 14 開校 50 周年記念式典  
55. 11. 11 定時制普通科創立 30 周年記念式典  
60. 2. 17 定時制普通科閉科記念式典  
3. 31 定時制普通科閉科  
61. 2. 15 定時制農業科閉科記念式典  
3. 31 定時制農業科閉科  
63. 2. 23 制服改定  
平成元 . 9. 3 開校 60 周年記念式典  
4. 2. 22 家政科閉科記念式典  
3. 31 家政科閉科  
11. 10. 16 開校 70 周年記念式典  
13. 3. 1 普通科第 53 回卒業式  
14. 3. 1 普通科第 54 回卒業式  
15. 3. 1 普通科第 55 回卒業式  
4. 8 制服改定  
7. 23 校舎改築工事着工  
10. 26 新校舎への移転  
16. 3. 1 普通科第 56 回卒業式  
17. 3. 1 普通科第 57 回卒業式  
18. 3. 1 普通科第 58 回卒業式  
18. 11. 15 校舎落成記念式典  
19. 3. 1 普通科第 59 回卒業式  
20. 3. 1 普通科第 60 回卒業式  
21. 3. 1 普通科第 61 回卒業式  
21. 10. 17 開校 80 周年記念式典  
22. 3. 1 普通科第 62 回卒業式  
23. 3. 1 普通科第 63 回卒業式  
24. 3. 1 普通科第 64 回卒業式  
25. 3. 1 普通科第 65 回卒業式  
26. 3. 1 普通科第 66 回卒業式  
27. 3. 1 普通科第 67 回卒業式  
28. 3. 1 普通科第 68 回卒業式  
29. 3. 1 普通科第 69 回卒業式  
30. 3. 1 普通科第 70 回卒業式  
31. 3. 1 普通科第 71 回卒業式  
令和元 . 11. 9 開校 90 周年記念式典  
2. 3. 1 普通科第 72 回卒業式  
3. 3. 1 普通科第 73 回卒業式  
4. 3. 1 普通科第 74 回卒業式  
5. 3. 1 普通科第 75 回卒業式  
6. 3. 1 普通科第 76 回卒業式  
7. 3. 1 普通科第 77 回卒業式

